

報道関係者各位

2025年4月1日（火）
株式会社明電舎

官民出資会社を継続し 事業運営及び拡張工事等包括事業（第2期）を開始

株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：井上晃夫/東京都品川区、以下明電舎）を代表とした民間企業グループと、群馬東部水道企業団（本所：群馬県太田市、以下企業団）は、官民で共同出資する「株式会社群馬東部水道サービス」を再編成し、4月1日より事業運営および拡張工事等包括事業（第2期）を開始しました。2030年3月31日までの5年間、浄水場や関連施設の管理、水道料金の徴収などを通じ、当該区域市民44万人の水道事業を引き続き支えてまいります。

水道事業が人口減少に伴う給水収益の減収や水道施設の老朽化、災害時の対応強化といった課題を抱える中、企業団は太田、館林、みどりの3市、板倉、明和、千代田、大泉、邑楽の5町の事業を2016年度に統合して発足。2017年度からは官民出資会社形式による第1期包括事業委託を導入し、明電舎をはじめ、株式会社ジーシー自治体サービス（代表取締役：岡田 淳/群馬県前橋市）、株式会社クボタ（代表取締役社長：北尾 裕一/大阪市浪速区）の3社による民間グループと共同で「株式会社群馬東部水道サービス」を設立しました。浄水場管理業務・管路給水業務・検針収納業務や事務管理業務（3条業務）を安定的に実施しながら、老朽化に伴う施設や管路の更新業務に加え、広域化による施設及び管路の再構築整備業務（4条業務）により浄水場施設数を半分以下にするなど、企業団とともに8年間の事業運営を完遂し、他の自治体のモデルケースとなる事業として高い評価をいただきました。

第2期包括事業委託は、第1期の事業評価を踏まえて定められた企業団、群馬東部水道サービスそれぞれの方針を十分に理解するとともに、官民の強固なパートナーシップを継続し、以下の水道事業に貢献してまいります。

第2期包括事業委託における業務一覧

施設維持管理・業務経営サポート等の包括委託業務

浄水場および関連施設管理業務*

管路施設管理業務
給水装置関連業務
水道料金徴収業務
水道事務管理業務

工事等関連委託業務

既存管路の更新整備業務（DB方式）
既存管路の更新委託業務（CM方式）
その他事業における工事関連委託業務（CM方式）

* 明電舎が担う業務（水道法第24条の3に基づく第三者委託）

